

事業実施報告

|           |   |
|-----------|---|
| 事業名       | 【まちだ若者大作戦】目指せ！「太鼓の達人」マスター！  |
| 目的        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもにやさしいまちはだれにとってもやさしいまち」の実現に向け、子ども・若者自らの力で“やりたいこと”を成し遂げよう！（まちだ若者大作戦のコンセプト）</li> <li>・eスポーツに興味を持つ</li> <li>・楽しい時間を過ごし、お互いにその気持ちを共有する</li> <li>・参加者同士、または同じ趣味を持つ者同士が交流を通して、新たな絆をもつ</li> </ul>   |
| 日時        | <p>【練習会】2025年 11月8日(土) 午後2時～4時 子どもセンターつるっこ<br/>         11月15日(土) 午後2時～4時 子どもセンターまあち<br/>         12月6日(土) 午後2時～4時 子どもセンターばお<br/>         12月13日(土) 午後3時～5時 子どもセンターただON<br/>         12月20日(土) 午後2時～4時 子どもセンターばあん</p> <p>【大会】<br/>         2026年1月17日(土) 午前10時30分～午後0時30分 子どもセンターつるっこ</p>   |
| 主な対象と参加者数 | <p>対象：小学3年生以上<br/>         参加者：小学生62名、中学生～18歳9名 計71名</p>  |
| 講師・協力者等   | <p>和光高等学校 高校生1名<br/>         まちだeスポーツ協会 1名</p>  |
| 内容        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニンテンドースイッチの「太鼓の達人」のカセットを利用し、太鼓とバチセットでの練習会を実施。同時にたたき方のコツを紹介。</li> <li>・スコアで対決するトーナメント形式の大会を実施</li> </ul>   |
| 様子等       | <p>つるっこのスタジオを使用していた高校生、まちだ若者大作戦に興味を持ち、ゲームの「太鼓の達人」が得意という事で、大作戦へのエントリーとなった。11月のつるっこでの練習会を皮切りに、各子どもセンターを周り、参加者に「太鼓の達人」を楽しんでもらったり、コツを教えたり、一人ひとりに丁寧な声掛けを行っていた。参加者たちの中に企画者よりも達人級がいるなどし、本人的に想定外のこともあったようだが、上級者同士でつながりを持つことが出来て喜んでいて、参加者たちは、自分がプレイする他にも上級者のプレイを見るのも好きで、企画者に好きな曲をリクエストして太鼓裁きを見せてもらっていた。</p> <p>大会では、初戦から敗者が涙を流すほどの真剣勝負。決勝戦では、会場全体がしんとになり、息をのむようにして対戦を見守った。</p> |

|           |   |
|-----------|---|
| 事業名       | つるっこホットフェス  |
| 目的        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・来館者に楽しい時間を提供する。</li> <li>・たくさんの人につるっこ子ども委員会の活動を知ってもらう。</li> <li>・子ども委員会のメンバーが、主体的に、力を合わせてイベントの企画・準備から実施までを行うことで、達成感を味わい、団結力を高める。</li> </ul>   |
| 日時        | 2025年12月21日(日) 午後1時～午後5時  |
| 主な対象と参加者数 | 対象:どなたでも<br>乳幼児 74 名、小学生 87 名、中学生～18 歳 53 名、保護者 80 名 計 294 名  |
| 講師・協力者等   | 青少年健全育成鶴川第一地区委員会、つるっこ応援し隊、鶴川地区青少年委員、多文化クラブ DANRO、つながる町だファミリー、町田市公園緑地課、町田市美術館課、鶴川地域子育て相談センター、子ども委員会 OBOG、他ボランティア 計 21 名  |
| 内容        | ①迷路 ②工作(クリスマスカード作り) ③スタンプラリー ④ドッジボール<br>⑤キャンドルイルミネーション ⑥宝探し ⑦牛乳パックコマ作り<br>⑧チャイ・クリスマス工作 ⑨フォトスポット ⑩公園アンケート ⑪投壺<br>⑫キラキラタイム ⑬模擬店   |
| 様子等       | <p>【各コーナーの様子】</p> <p>①迷路…イルミネーションや光るツリーで飾られた迷路を進みながら、おでんの具材の数を数え、ゴールで答え合わせをした。リピーターも多く、157名の参加があった。</p> <p>②工作(クリスマスカード作り)…2種類のカードを用意。約60名の参加。</p> <p>③スタンプラリー…館内6か所をめぐるスタンプラリー。105名の参加。</p> <p>④ドッジボール…学校、学年の異なる子どもたちが参加。スピードの速いボールが飛び交っていた。49名の参加。</p> <p>⑤キャンドルイルミネーション…芝生ひろばに並べられたキャンドルアートを屋上から眺めた。屋上では、子ども委員サンタからお菓子のプレゼント。</p> <p>⑥宝探し…ボールプールの宝(マーク付きのボール)を時間内に探すゲーム。幼児から高学年まで楽しめていた。</p> <p>⑦牛乳パックコマ作り…青少年委員さんによる工作コーナー。色塗りに個性が溢れていた。作ったコマを嬉しそうにまわす子どもたちの姿があった。</p> <p>⑧チャイ・クリスマス工作…多文化クラブ DANRO さんのコーナー。英語でのコミュニケーションに、子どもから大人まで盛り上がっていた。</p> <p>⑨フォトスポット…つながる町だファミリーによるコーナー。手作りのフォトスポットでは、幼児親子だけでなく、小学生が友だち同士で写真を撮りあう姿も見られた。</p> <p>⑩公園アンケート…公園緑地課によるコーナー。3つの質問に答えるとガチャガチャに参加できる。質問は丸シールで回答ができ、幼児から小学生まで楽しんでいた。</p> <p>⑪投壺…美術館課によるコーナー。壺の中に矢を投げて遊ぶ古代の遊び。矢の本数によって、缶バッジがもらえる。何回も並んで参加する子が多数。</p> <p>⑫キラキラタイム…鶴川地域子育て相談センターによるコーナー。ミュージックパネルシアターやふれあい遊び。音楽に乗って楽しむ姿が見られた。</p> <p>⑬模擬店…鶴川第一地区委員会、つるっこ応援し隊による、ミニラーメンや駄菓子などが売られ、盛り上がっていた。駄菓子は、子ども委員会のリクエストをもとにした品ぞろえとなった。</p> |

|           |  |
|-----------|--|
| 事業名       | あそんでまなぼう！防災フェスタ  |
| 目的        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが防災への関心を高め、災害時に役立つ基礎的な知識や行動を身につける</li> <li>・体験型の防災学習を通じて、日常の中で防災意識を育む機会を提供する</li> <li>・子ども・若者のやりたいことを子どもセンターで実現できるように後押しをする</li> <li>・子どもセンターに関連する地域の人と人をつなぎ、活動の場を広げる</li> </ul>  |
| 日時        | 2026年1月11日(日) 午前10時30分～午後3時  |
| 主な対象と参加者数 | 対象:どなたでも<br>乳幼児66名、小学生64名、中学生～18歳5名、保護者79名 計214名   |
| 講師・協力者等   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災アンバサダー ・さるびあ亭かーこ ・らぶふぁみ</li> <li>・玉川大学学生防災ボランティア隊 ・まちだいぬねこ守り手ネットワーク</li> <li>・町田高校生徒会 ・国士館大学の学生 ・実習生 ・ゆかいな仲間たち</li> <li>・鶴川地区協議会 ・町田消防署 鶴川出張所 ・町田市防災課 計 35 名</li> </ul>  |
| 内容        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・心肺蘇生法(防災アンバサダー)</li> <li>・防災すごろく(町田高校生徒会)</li> <li>・ペットボトルランタンづくり(玉川大学学生防災ボランティア隊)</li> <li>・防災紙芝居(さるびあ亭かーこ)</li> <li>・ペット防災(まちだいぬねこ守り手ネットワーク)</li> <li>・起震車・水消火器・消防車(町田消防署)</li> <li>・子を持つ親の備えとは・子どもの避難方法(らぶふぁみ・防災アンバサダー)</li> <li>・避難テント・段ボールベット(防災課)</li> <li>・工作(ボランティア)</li> <li>・防災クイズラリー(館内に設置)</li> <li>・アルファ米の実食(ボランティア)</li> </ul> |
| 様子等       | <p>防災アンバサダーの高校生による企画。当日はつるっこの1階と芝生広場で実施。防災を身近に感じ、親子で防災について学ぶきっかけとなった。町田市備蓄品アルファ米の炊き込みごはんの実食は、「地震が来て避難所に行ったらこれが食べられるの？」と小学生から感想が出るほど、美味しかったようだ。最後に関係者で集まり、各団体からの感想では、若い世代の活躍、防災についての意識の高さが伺えた。防災に関して、関係団体同士横のつながりを持ち、今後も防災フェスタを継続していくきっかけとなった。</p>  |

|           |  |
|-----------|--|
| 事業名       | 移動ミュージアム「プラネタリウムと光の不思議」  |
| 目的        | ・町田市には、プラネタリウムほか科学に親しむことができる施設がない。移動プラネタリウムや科学分野のワークショップを通じて、子どもたちが科学への興味や関心を広げ深る  |
| 日時        | 2026年2月11日(祝) 午前10時30分～午後4時  |
| 主な対象と参加者数 | 0歳～18歳とその保護者・小学生～中学生向け<br>乳幼児122名、小学生170名、中学生～18歳10名、保護者151名 計453名   |
| 講師・協力者等   | 星空のオフィス CUE  |
| 内容        | ○移動式プラネタリウムによる星空鑑賞<br>○光の不思議ワークショップおよび展示 13コーナー<br>・ワークショップ「偏光万華鏡」・光の三原色<br>・簡易分光器で光を見てみよう ・光るぬりえ<br>・ブラックライトで光るもの ・ソーラーカーなど   |
| 様子等       | ・プラネタリウム鑑賞のみ、事前申し込み制。1回あたり20分・定員30名を7回募集したが、3日前にはすべて予約が入るほど好評で、急遽、8回目を実施した。<br>・乳幼児と保護者の参加も多く、「子どもと初めてプラネタリウムを見ました」という参加者もあり、気軽に様々な体験ができる機会として、楽しんでいただけた。<br>・お父さんが疑問に感じたことをスタッフの方に熱心に質問し、その回答をお父さんが子どもに説明している様子もあり、親子でのコミュニケーションのきっかけになっていた。<br>・小学生低学年の男子がメインのふらっぴ(プレイルーム)から離れた2階スタジオゆめが空いていることを心配し、メイン会場にいる参加者に積極的に声をかけていたことから、利用者同士がつながるきっかけにもなった。 |